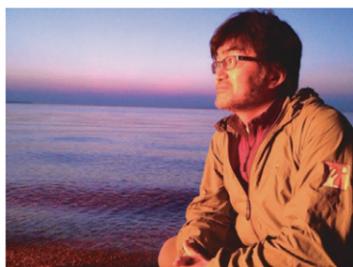


ごあいさつ



森のようちえん全国交流フォーラム2014 in東北 実行委員長  
佐々木豊志

未来を拓く力を育む「森のようちえん」を一緒に考えませんか？

人が自然と向き合ったとき、自然の摂理に気がつきます。  
人が人と向き合ったとき、人の存在に気がつきます。  
人が社会と向き合ったとき、社会の仕組みに気がつきます。

幼少年期に自然の中で存分に遊ぶと、たくさんのことに気がつく力を鍛えてくれます。  
そして、目の前の課題を自ら見つけ、自分で考え、解決するために行動を起こす力を育んでくれるでしょう。

震災後、東北の子ども達が自然の中で遊ぶ機会が減っています。  
自然と共にいて、人と共にいて、社会と共にいること……  
東北の未来、日本の未来、そして、子ども達の未来を拓く力を育むために……  
ここに集いましょう！



# 第10回 森のようちえん 全国交流フォーラム2014 in東北

## 「笑がお 輝け 森わらし」

会場  
参加対象  
定員  
参加費

オーエンス泉岳自然ふれあい館 (〒981-3225 宮城県仙台市泉区福岡字岳山9-8)

幼児の自然体験・野外幼児教育・森のようちえんに興味関心のある方

350名 (日帰り参加含む)

	参加費	食費宿泊費	懇親会費	合計
全日程 (一般)	¥18,000	¥8,000	¥2,000	¥28,000
全日程 (会員)	¥16,000	¥8,000	¥2,000	¥26,000
全日程 (小学生)	¥6,000	¥5,000	-	¥11,000
全日程 (幼児)	¥5,000	¥4,000	-	¥9,000
日帰り 田・団	¥4,300	¥700	-	¥5,000
日帰り 回	¥6,300	¥700	-	¥7,000
日帰り回(小学生)	¥1,500	¥500	-	¥2,000

▷森のようちえん、小学生キャンプ、託児の詳細はホームページをご覧ください。  
▷キャンセル料：後日郵送する資料にてご案内

受付開始

全日程参加 (森のようちえん全国ネットワーク会員)  
全日程参加  
日帰り参加

9月1日(月)  
9月8日(月)  
9月15日(月)

### 2014.11.22日-24日

申込締切

10月19日(日) (定員になり次第締切)

申込先

<http://forum.morinoyouchien.org/>

会場：オーエンス泉岳自然ふれあい館 (〒981-3225 宮城県仙台市泉区福岡字岳山9-8)  
主催：「森のようちえん全国交流フォーラム2014in東北」実行委員会  
共催：森のようちえん全国ネットワーク・公益社団法人国土緑化推進機構  
協賛：

お問い合わせ

2014forum@morinoyouchien.org / ☎022-343-6479 (森のようちえん虹の森内)

基調講演

子どもの元気大作戦  
～知ろう 子どものカラダとココロ～



野井 真吾 教授

日本体育大学 体育学部健康学科教授。  
学校保健、教育生理学、発育発達、体育学を専門  
領域として、子どもの“からだ”にこだわって研究  
を続けている。著書に『新版からだの“おかしさ”  
を科学する』（かがわ出版）、『子どもの体温と  
健康の話』（芽ばえ社）、『子どものケガをとこと  
んからだで考える』（旬報社）など。

13:00 開会式

13:20 基調講演  
野井真吾教授

15:00 対談  
野井真吾教授 & 内田幸一

16:10 スライドショー  
「その命 輝くところ」小西貴士

17:30 夕食・入浴

20:00 フリー分科会  
参加者による自主企画の発表を募集します。

21:00 フリータイム

06:30 早朝オプション  
07:15 参加者による自主企画の発表を募集します。

07:30 朝食

09:00 分科会 A

A1 森のようちえん的  
子育て  
～家庭で役立つ  
子育ての「つぼ」～  
内田幸一  
森のようちえん全国  
ネットワーク運営委員長  
飯綱高原ネイチャーセンター

A2 子どもに寄り添うということ  
～アレルギー児と発達障がい  
児の森での日常から～  
浅井智子  
森のわらべ多治見園  
野沢俊豪  
NPO法人ネイチャーマジック  
森のようちえん さんぽみち

A3 里山の  
あそびとくらし  
井上 亘  
認定こども園めぐたま

A4 そうだったのが目から  
ウロコのほんとはツカエル  
応急手当のイロハ  
鈴木哲士  
ディックファーストエイドインカーナショナル日本部  
辻 英之  
NPO法人グリーンウッド自然体験教育センター

A5 ハレの日の  
森のようちえんの  
実践例  
木村元思  
一般社団法人 葛巻町産産開発公社  
塚原俊也  
一般社団法人 くりこま高原自然学校

A6 こどもと  
ファンタジーを  
つなぐ  
森空間の整備  
吉成信夫  
森と風のかつこう

A7 森のようちえん版  
森づくり  
～幼児から始まる森のかかわり～  
小菅江美  
森のようちえん てくてく  
上田 融  
NPO法人 ねおす

A8 放射能と  
福島のくらし  
清水義広  
NPO法人  
ふくしま30年プロジェクト

ws-A 森がなくてもできる!  
自然体験活動  
～ゼアリングネイチャーに学ぶ～  
白壁洋子  
森の仲間たち

11:00 昼食

12:30 分科会 B

B1 毎日の森のようちえん  
実践例  
～保育者の思い・見直し・保育内容の実現～  
沼倉幸子  
森のようちえんはっぴー  
野村直子  
森のようちえんLittleTreeもあなぐいせな木

B2 知識の源泉  
としての野外教育  
～スウェーデンのアウト  
ドア環境教育に学ぶ～  
西浦和樹  
宮城学院女子大学

B3 子どもを  
育てるわらべうた  
降矢美彌子  
宮城教育大学名誉教授

B4-C4 川遊びを安全に  
楽しむための  
水辺のリスク  
マネジメント講座  
相馬 孝  
小川原湖自然楽校

B5 森のようちえんの  
運営とその実際  
内田幸一  
森のようちえん全国  
ネットワーク運営委員長  
飯綱高原ネイチャーセンター

B6 森のようちえんの  
社会化  
～運営形態の違いを超えた  
社会化の可能性を探ろう～  
小菅江美  
森のようちえんてくてく  
小林成親  
山の遊び舎はらべこ

B7 自然と共生する  
森づくりと  
暮らしづくり  
大場江美  
株式会社ナライフ森の家  
田手扶紀  
NPO法人しんりん

B8 震災で試された  
生きる力は  
幼児期に育まれる  
佐々木豊志  
一般社団法人くりこま高原自然学校

ws-B お母さんが作る  
森で食べたい  
田舎のおやつ  
塚原茉衣子  
一般社団法人くりこま高原自然学校

15:00 分科会 C

C1 迷いませんか?  
待つべきこと  
待ってはいけないこと  
～森のようちえん  
ピッコロ保育事例より～  
中島久美子  
森のようちえんピッコロ

C2 北欧から学ぶ  
センスオブワンダー  
～デンマークと  
フィンランドの事例から～  
柴田千賀子  
桜の聖母短期大学

C3 幼児と  
楽しい海遊びを  
するためには?  
打矢繁美  
NPO法人あきた海辺の自然学校

C5 生きるための  
直感力を養う  
ヒヤリハット  
71の体験  
中能孝則  
公益財団法人社会教育協会  
日野社会教育センター

C6 長野県・鳥取県の行政  
との連携から学ぼう  
寺谷誠一郎  
智頭町長  
小林成親  
長野県野外保育連盟  
鳥取県  
子育て王国推進局 担当者

C7 火育と木質バイオマス  
～子どもと地域を育む  
森のエネルギー～  
大場隆博  
NPO法人 日本バイオマスネットワーク  
佐々木豊志  
一般社団法人 くりこま高原自然学校

C8 福島の実況と  
子どもたちの  
自然体験  
吉野裕之  
NPO法人 シヤロム災害支援センター

ws-C 森の劇場  
ちりんぼろん♪  
～森で楽しむ  
お話をうた～  
小林直美  
森のたんけんたい

18:30 夕食&懇親会(入浴随時)

20:30 フリータイム

モリヨ  
モリショ  
キャンプ

森のようちえん&小学生キャンプ

期間中  
開催  
現在企画進行中!  
詳しくはフォーラムHPを



森のようちえん  
全国ネットワーク運営委員長  
内田 幸一

自然体験型の幼児教育の実践を通じて、幼児  
に何が育つのか考えてきました。保育者の関  
わり方、環境や活動、その良否も少しは分かっ  
て来たところです。その年齢に応じた育ちを  
十分保証してあげたいものです。幼児期の毎  
日が充実感あるものに、がモットーです。

長野県

長野県の子育て支援施策の中で大きく注目したいことは、「信州型自然保育検討事業」です。この事業では、自然と積極的に関わる保育や幼児教育のあり方を検討し、自然保育の認定制度とあわせて、県内の多くの子どもたちの自然体験が広がる環境の実現を目指しています。

鳥取県

鳥取県でも、学識経験者を含めた検討委員会によっ  
て、森のようちえんの認証制度を検討しており、ま  
た、それに先立つ形でモデル事業運営費助成として、  
県内森のようちえんへ行政支援をしています。

特別企画鼎談

草の根的に広がってきている森のようちえん  
の活動に対して、先駆的に取り組む長野県知  
事と当団体委員長内田による鼎談が実現しま  
す（※鳥取県は鼎談者を調整中）。森のよう  
ちえんの活動が教育・保育・子育て支援とし  
て重要であると、行政が目をつけていただき  
つつあります。これまでの積み重ねてきた私  
たちの活動が評価され、このような取組み  
が進みつつあることを嬉しく思います。このよ  
うな地方からの取組みが全国にひろがり、  
今後の教育・保育の在り方に革命を起こすう  
ねりになり、すべての子どもの利益につな  
がるよう期待してやみません。鼎談では、子育  
て支援の想いや、森のようちえんへの熱意を  
熱く語っていただけることでしょう。

特別企画鼎談

長野県 阿部守一知事 × 鳥取県（調整中）  
× 内田幸一

11:00 ふりかえり

11:40 閉会式

12:15 森のようちえん  
13:00 全国ネットワーク総会